

%company%

%free1%

%free2%

%name_sama%

◆中小企業経営者列伝、第15弾。4回シリーズ

不良のリーダーのやんちゃ社長が一念発起で起業
様々な試練を乗り越え
社会人向けビジネススクールでMBAも取得

5次下請けから這い上がりMBAも取得

男なら、

死ぬ時には生まれた時よりも世の中を良くして逝こうじゃないか。

ラックス建設株式会社 代表取締役 山田 哲矢氏

◆第1回 立身出世の夢——借家育ちの少年が見た未来

◆第2回 19歳で人生を企画せよ——夢と軍資金500万

◆第3回 不渡り手形と転落——そしてV字回復へ

◆第4回 フロービジネスからストックビジネスへ——未来への布石

~~~~~  
第1回 立身出世の夢——借家育ちの少年が見た未来

【目次】

■はじめに

■学歴こそが成功への切符？

■自分で掴み取るしかない

■運命の出会い

■夢の実現へ、次なる一步

■はじめに

広島県福山市。瀬戸内海に面し、昔から工業と商業が盛んなこの街で、山田哲矢は生まれた。

父は長距離トラックの運転手、  
母は昼間は縫製工場で働き、夜は料亭の仲居として働く共働き家庭だった。  
妹と二人、母の作り置きのお食事を温めて食べるのが日常で、  
家族がそろって食卓を囲むことは年に数回あるかないかだった。

「家族旅行なんて行ったことがないし、父親と会うのも月に一度くらいだった。  
でも、それが当たり前だったんです。」

幼い頃から、周囲の裕福な家庭と自分の家庭を比べることがあった。  
広い庭のある家や、毎年のように海外旅行に行く友人のお話を聞いたたびに、  
「自分もいつか、こんな生活を送りたい」と漠然とした憧れを抱いた。

### ■学歴こそが成功への切符？

小学校の頃から勉強が好きだった。  
特に読書が好きで、一冊の本に没頭する時間が何よりの楽しみだった。  
両親が忙しい分、自分の世界を作るのは本の中だった。

「本の中の世界では、自分は誰にでもなれる。どんな未来も選べる。そう思っていました。」

その向学心が実を結び、中学受験で進学校に入学する。  
しかし、ここで思いもよらないことが起こる。

「中学は地元とは離れていて、祖父母の家から通っていたのですが、男子校で厳しいんです。  
でも夏休みとかで地元に戻って幼馴染と遊んでいると、彼らは男女共学なんですよ。  
それに先生と友達のようにフランクに接している。  
うらやましかったですね。キラキラ輝いて見えました」

こうして山田氏は、地元の中学へ転校することになる。

### ■自分で掴み取るしかない

地元の中学に転校した山田氏を待っていたのは、  
地元の幼馴染たちとの不良三昧の日々だった。

さらに山田氏は、高校1年の夏休み他校の生徒と乱闘おこして停学となる。

停学は間違いなく留年。

上昇志向があった山田氏は「高卒資格は取りたい」という思いから、鉄筋工として友人の実家会社の手伝い、その後建築会社に転職し働きながら定時制高校に転校する道を選ぶ。

「自分で選んだ道だけど、学歴コンプレックスはずっとありました。周りの同級生は普通に高校に通っているのに、自分は働きながらじゃないと学校に行けない。でも、負けたくなかった。」

山田氏は日中は建設現場で働き、夜は学校へ通う生活を始める。

授業が終わると、疲れた体に鞭を打ちながら、資格試験の勉強をする。建築施工管理技士、玉掛け、クレーン運転、重機操縦……山田氏が取得した資格は30以上に及んだ。

「資格を取れば、できる仕事が増える。できる仕事が増えれば、収入も増える。そうやって自分の道を切り開こうとしていました。」

## ■運命の出会い

19歳の頃、山田氏はさらなるステップアップを目指し、会社からオファーされた東京の建設現場で働くことを決意する。定時制高校も東京の信制高校に転校し、続けていたため学業に加え仕事も厳しく、体力的にも精神的にもギリギリの状態が続いた。

「東京では独身寮に住んでいました。神楽坂の坂の上にあるビジネスホテルみたいなところで、会社の人が出張で東京来た時に使ったりもしていて同僚ともあまり付き合いがなく、華やかなところだったが、やんちゃしていた時代に遊んでいたから遊びは卒業していたので仕事が終わったら自分の部屋で黙々と勉強していました。」

そんなある日、現場の帰りにふと立ち寄った坂の途中の小さな本屋で、一冊の本に目が留まった。ナポレオン・ヒルの『成功哲学』だった。

「最初のページを開いた瞬間、まるで電流が走ったような衝撃を受けました。『これは自分のために書かれた本だ』と直感的に思いました。」

山田氏はその本を手に取り、即座にレジへ向かった。そして寮まで走って帰り

部屋に戻ると、むさぼるように夢中で読み耽った。  
気になる言葉には赤線を引き、チラシの裏にメモを取り、壁に貼り付けていった。

「それまでは、ただがむしゃらに働いていたけど、  
この本を読んで、初めて『自分の人生を設計する』ということを考えました。」

そして19歳の山田氏は「小目標・中目標・大目標」をノートに書き出した。  
その中には、「25歳までに起業」「30歳で年商〇億」  
「50歳までにオーナー業を確立。日本を代表する企業に」  
といった明確な数字が並んでいた。

「この目標シートは今でも持ち歩き、従業員にも見せています。  
未来を決めるのは、自分の行動次第。そう信じていることができるようになりました。」

### ■夢の実現へ、次なる一歩

しかし、山田氏がその目標を達成するためには、今の職場では限界があった。  
現場監督としての収入では、起業資金を貯めるのに何年もかかる。

「もっと高収入の仕事が必要でした。そこでハローワークで仕事を探したんですが、  
その中で1.5万円と日当のよかった日本鋼管(現JFE)の荷役作業員の仕事の  
面接を受けることにしました。」

この決断が、山田氏の人生の転機となる。

そして、面接で山田氏は軍資金を貯めるために必要な日当として1.7万円を要求する。  
もちろん経験もないのにそんな要求をするのだから面接は紛糾するのだが、  
一向に譲ろうとしない山田氏に面接官が

「これでもかなりいい条件だろ、なんでそんなに金にこだわるんだ」  
と聞かれた山田氏は、「母が重病で…」とかウソをつこうかとも思ったが、正直に  
「僕には夢があります。自分の会社を起こしたいんです。  
その計画を達成するには最低でも1.7万円だけの日当が必要なんです」

面接官は驚きの表情を見せた。そして、こう言った。

「お前、面白いな。」

山田氏の人生は、この瞬間から加速し始める。

——第2話へ続く。

編集長 岩下一智 (株)I&C・HosBiz センター・執行役員  
マーケット・クリエーター(MRC)

いかがでしたでしょうか、お楽しみいただけましたか？

次回は

◆中小企業経営者列伝、第15弾。4回シリーズ

不良のリーダーのやんちゃ社長が一念発起で起業  
様々な試練を乗り越え  
社会人向けビジネススクールでMBAも取得

5次下請けから這い上がりMBAも取得

男なら、

死ぬ時には生まれた時よりも世の中を良くして逝こうじゃないか。  
ラックス建設株式会社 代表取締役 山田 哲矢氏

の第2回 19歳で人生を企画せよ——夢と軍資金500万  
をお送りする予定です  
お楽しみに！

~~~~~

■参考図書■Amazon 電子書籍&オンデマンド版

「理念経営道実戦教本」25年3月発売予定・・・予価：5000円（税込み）

B5版 約180頁

委細はHP等でご案内いたします。

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

~~~~~

本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。

heart\_gaia\_gi@hosbiz.net

~~~~~  
バックナンバーは下記の URL を確認してください。

https://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻を  
よろしく願います。

次回、第 685 号・

◆中小企業経営者列伝、第 15 弾。4 回シリーズ

高校中退やんちゃ社長が一念発起  
社会人向けビジネススクールを卒業

5 次下請けから這い上がり MBA も取得

男なら、

死ぬ時には生まれた時よりも世の中を良くして逝こうじゃないか。

ラックス建設株式会社 代表取締役 山田 哲矢氏

の第2回 19 歳で人生を企画せよ——夢と軍資金 500 万  
を、25・02・14(金)にお届けする予定ですので、  
楽しみにしててくださいね。

※なお内容は予告なく変更する場合がありますので、ご承知ください。

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、  
私たちは「世のため・人のため」になれない。  
とクルー一同尽力しております。

■平本靖夫、50 年の経営支援家人生の集大成 第 1 弾！

『合本主義「義利合一」の時代がきている』

Amazon kindle にて発売中！！ 2000円

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。  
では、また次号で元気にお会いしましょう！

◆発信日・・・・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・・Captain 平本靖夫

◆編集長・・・・岩下一智・(株)I&C・HosBiz センタ・執行役員  
マーケット・クリエーター(MRC)・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html>inoue

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>)

お問い合わせは「<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>」まで

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html>hiramoto

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu\_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本靖夫、

編集長：岩下一智 MRC